

お客様各位

釧路信用金庫

令和元年度地域密着型金融の取組状況について

令和元年度地域密着型金融の取組状況について以下のとおりご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業期・新規事業展開期における支援

- ◎新規創業支援について、全店での取扱は36件、531百万円の実績となりました。
- ◎新事業展開時における各種補助事業等の申請支援や、公的機関の支援コーディネートにも積極的に取り組んでおります。

(2) 成長期における支援

- ◎成長期における支援について、ビジネスマッチングを中心に以下の取組みを行いました。
 - ①独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）北海道センター、帯広信用金庫主催のビジネスマッチングイベント「翔け海外へ in 帯広 Part2 食の海外展開個別商談会」に参加し、当金庫お取引先の農家3社の商品についてビジネスマッチングを実施しました。
 - ②釧路管内の事業者支援のため2016年度に発足した「販路拡大・商品磨き上げ研究会」（当金庫、釧路市、釧路商工会議所連携）事業の一環として、令和2年1月21日（火）・22日（水）に東京において首都圏への販路拡大支援商談会を実施しました。21日（火）は首都圏バイヤーへの釧路産地場食品のプレゼン、22日（水）は「クイーンズ伊勢丹」との専属商談会を実施しました。

(3) 経営改善期における支援・事業再生期における支援

- ◎営業店と企業支援グループが連携した企業支援活動
 - ・営業店や業務部に設置されている企業支援グループが中心となり改善計画の進捗状況の管理や経営指導・アドバイス等を行いました。
- ◎認定支援機関との連携
 - ・経営改善支援の実効性向上を図るため、認定支援機関との連携により経営改善計画策定支援事業の活用に取り組みました。

(4) 事業承継期における支援

- ◎一般社団法人しんきん事業承継支援ネットワークや中小企業基盤整備機構との連携により、事業承継個別相談会を21日間開催し延べ43先の経営者の相談に対応致しました。

2 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域全体の活性化、同時的・一体的な「面」的再生への取組

平成29年度から、日本財団「わがまち基金」を活用した地方創生支援スキームに係る助成金を活用し、アイヌ文化のブランド価値向上を通じたくしろ地域の商業・観光関連産業の活性化事業を継続しております。本事業はNPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構と釧路信用金庫とが連携し、地域の独自性であるアイヌ文化やアイヌ文様のデザインを活かした新たな商品を企画・開発し、地元だけでなく首都圏でも販売していくことで、地域のブランド力の向上、地元土産品事業者の売上増加、新しいニーズに基づく観光客の増加等を図り、くしろ地域の商業・観光関連産業を活性化させることを目指しております。

令和元年度は、全国的な人気を誇るブランド「BEAMS」とアイヌ民族の若手工芸家とのコラボ商品が完成し、令和元年10月12日から27日の間「新宿 BEAMS」にて販売会や各種イベントを実施し、商品は全て完売となりました。本件事業は令和元年度で終了となりますが、今後も地域活性化に向けた取組みを継続してまいります。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域の活性化に向け、以下の取組を推進しました。

- ◎お取引先に対して各種補助事業などの情報提供及び支援を行いました。
- ◎釧路しんきん地域貢献表彰制度において、「新技術奨励賞」と「地域貢献奨励賞」、「地域のブランド化推進奨励賞」、「学生研究奨励賞」として、以下の方々を表彰しました。

【新技術奨励賞】

①株式会社アクト（代表取締役 内海 洋様）

当社は農業施設の専門メーカーで、産総研や帯広畜産大学との共同研究により消毒装置や浄化槽等の開発、販売を行っています。本表彰制度で『酪農家における収入減3大要素の一つである蹄病の全自動防除装置の開発』を申請、酪農現場では重要な問題となっている蹄病の解決に向け足元に消毒液を自動噴射する等の独自技術、また環境に配慮・低コストで生成可能な次亜塩素酸水を使用した消毒装置の開発等が高く評価され受賞となりました。

②株式会社カイトー商会（代表取締役 米本 富夫様）

当社は給排水設備、燃焼機器の修繕等といった地域に根ざした設備会社として創業し、太陽光発電事業を機に創エネ・省エネ意識の下、住宅事業に取り組んでおり、2015年よりパッシブ住宅を手がけています。本表彰制度で『パッシブ換気システムと自然対流を応用した、床下最小熱源による全室自然換気・暖房の快適住宅の普及』を申請、特許を取得した当社独自の自然対流方式による換気システム、床下の最小熱源により家中を低コストでくまなく暖める技術などが高く評価され受賞となりました。

【地域貢献奨励賞】

① 釧路地域の子育てを支援する会（代表 成瀬 恵様）

当会代表は釧路町で唯一の助産婦として助産院を営んでおります。出産のみならず、妊婦・子育て支援、産前産後のケアを目的にピラティススクール等を開催しており、同じ悩みを持つ地域の女性への橋渡しとして積極的に活動していること等が高く評価され受賞となりました。

② くしろロコサイクルプロジェクト（代表 松岡 篤寛様）

当団体は平成30年4月に発足した地域団体であり、釧路のローカル地域を自転車の活用により活性化させる取組みを行う目的で設立され、道路のサイクル環境を整え、観光客・インバウンド向けの集客活動を自転車を通して行っています。サイクリングは全国的にブームの兆しがあり、地域の景観を含めた地域活性化の取組みを官民共同で行っていくという理念が高く評価され受賞となりました。

③ 一般社団法人スキルチャレンジ（代表 田中 雄也様）

当団体は、成長期の子どもを持つ家庭において、高価なアイスホッケー防具の購入が家計負担となる点を考慮し、防具の無償提供の呼びかけ・引取り・提供の循環システムを根付かせようと釧路市内で活動しています。循環システムの構築、独自アイデア、子どもたちへのアイスホッケーの普及、競技人口の維持・増加への寄与など活動目的や意義が高く評価され受賞となりました。

【地域のブランド化推進奨励賞】

特定非営利活動法人阿寒観光協会まちづくり推進機構（代表 大西 雅之様）

当NPO法人は阿寒湖地区の観光誘致・活性化に向けた活動を行っており、今般新たに伝統アイヌ古式舞踊と現代舞踊、最新のデジタル技術にて迫力ある映像を映し出す新プログラム『阿寒ユーカラ“ロストカムイ”』を製作、インバウンド・観光客誘致への貢献活動、従来の“阿寒湖＝マリモ”ではなく“アイヌ文化”の発信という独自性が高く評価され受賞となりました。

【学生研究奨励賞】

① 本田 瑛暉様（釧路工業高等専門学校電子工学科）

研究テーマ『野生動物との衝突防止システム』

野生動物との衝突事故が後を絶たない現状をふまえ、スマートフォンと小型のボタンデバイスを用いた、動物目撃情報システムを構築。情報収集し目撃情報をリアルタイムで共有、アプリにより警告を発し事故防止を目指すという当地ならではの研究であること等が高く評価され受賞となりました。

②杉目 育太様（釧路工業高等専門学校生産システム工学）

研究テーマ『熱画像と建物の断熱、気密欠損状況の関係に関する研究』

空き家の増加に伴い、中古住宅の再生利用が課題となっておりますが、撮影された熱サーモグラフィにより断熱・気密欠損状態を確認し、実際の壁の中の状態を把握し、容易に経年劣化の状態を知ることによって寒冷地の中古住宅流通に寄与することを目的とするという、当地ならではの研究である事等が高く評価され受賞となりました。

③釧路短期大学臨床栄養学ゼミ（代表 山吉 千史様）

研究テーマ『①地域食堂「コア大空食堂」における健康メニューの提供

②減塩レシピのリーフレット作成と活用』

地域食堂の食事提供サービスは献立作成・提供まで本ゼミの学生が主体で取り組んでおり、食事の提供と同時に減塩に関するアンケートを実施、減塩レシピのリーフレットも作成・配布し、意識向上を図っています。学生ならではのあたたかみのあるリーフレットの作成、減塩意識普及への取り組み等が高く評価され受賞となりました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

◎ 特殊詐欺被害防止講習会の実施

◎ ディスクロージャー誌、PR誌による積極的な情報発信

平成5年より「ディスクロージャー誌」を発行し、当金庫の業務や職員の紹介、地域情報などを発信しています。

◎ ホームページによるタイムリーな情報発信

商品情報やセミナーの開催情報など、様々な情報をわかりやすく発信しています。

以 上